

さんぽうは

日本共産党

横浜市議員 7月4日号

みわ智恵美

です

市政報告

発行：日本共産党港南区相談センター 2018年7月  
〒233-0002横浜市港南区上大岡西1-19-20-301  
☎ 045-844-3635 FAX 045-841-8975  
ブログ：みわ智恵美で検索☆  
Eメール：mail@miwa-chiemi.jp



# 市民の暮らし支える施策にこそ予算を 「あなたの願いきかせて」…市民要望懇談会を開催



6/25市民要望懇談会の様子

日本共産党横浜市議団は6月25日（月）、横浜市技能文化会館で、来年度の予算編成に向けた市民要望懇談会を開き、市民から市政に対する要望をお聞きしました。会場には52人が集まり、16人が市政に対する要望など発言しました。

## 5人から9人に議員が増え、市政 に変化が生まれてきた …団長挨拶

はじめに、あらき由美子団長（南区選出）は、前回の市議選で、党市議団は5人から9人となり、8つの常任委員会すべてに党議員が所属し、行政の動向把握が全分野でできるようになったこと、本会議の質問時間も11分から21分が増えたことなどの条件を生かして、市民要望の実現を行政に迫り、様々な成果を築いてきたことが紹介されました。

## 特養ホーム整備数倍増、小児医療費助成小1から中3へ

具体的には、特養ホーム増床整備数/年の倍増（300→600）、小児医療費助成が小1から中3（2019年4月～）まで拡大、申請抑制的だった生活保

護のしおり改善など21項目です。

党議員団の議員が増えれば増えるほど市民要望実現の条件が広がると述べ、来年のいっせい地方選挙では、カジノ推進、中学校給食否定の自民党、公明党に厳しい審判を下すチャンスだと訴えました。

## 「通学路の安全確保」「中学校給食実施」「カジノやめて」など要望が次々と

- 大阪北部地震のブロック塀事故を受けて、横浜も心配。通学路の安全対策を強めて欲しい
- カジノ誘致は絶対にやめてほしい
- ハマ弁に公費投入ではなく、子どもたちの栄養バランスのためにも中学校給食早期実現を
- 子どもの医療費が拡充されたのはうれしいこと。でも一部負担金と所得制限は撤廃を
- 生活保護のしおりが改善されて良かった。次は窓口対応の改善を
- 就学援助の入学準備金が入学前に支給されるようになって良かった。ただ、修学旅行費が中学で約5万円、小学で約2万円など高額になっている。前倒し支給を
- 横浜は山坂が多く、高齢者などが増え、買い物などの移動に困難を抱える人が増えている。移動手段の拡充策としてコミュニティバスやバス路線の新設、延長など拡充を
- もっと利用しやすいところに期日前投票所の設置を
- 道徳教育が導入されて心配
- マンションのスラム化防止策が必要。など、多岐にわたって要望が出されました。

